

行政報告の主な内容（6課17項目）

(1) 総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	予約型乗合タクシー運行事業について
	防災士取得講習費補助事業について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	高齢者福祉対策について
	子育て支援（ゴミ袋交付）事業について
(3) 町民生活課	町税等の収納対策について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	農業生産基盤整備事業について
	観光振興計画策定に向けた取組みについて
(5) 建設水道課	建設産業安全大会について
	町道維持管理業務の全面委託について
(6) 教育振興課	上富良野高校の現況について
	学校給食主食提供不能の経過について
	いしずえ大学開校40周年について
(7) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成24年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については昨年度中の定年退職者など7名の欠員に対して、看護師2名と社会福祉士1名を含む一般事務職4名の採用を行い、また北海道後期高齢者医療広域連合に職員1名を派遣したことに伴い、昨年度当初から2名減の185名による執行体制としたところであります。

組織機構については、除排雪を含めた町道の維持管理業務をアウトソーシングすることで車両班を廃止するとともに、介護保険班を高齢者支援班に改編するなど、一部見直しを実施いたしました。

今後とも、町民皆様との協働のまちづくりを進めるため、必要な見直しを加えながら体制の強化を図り、町民との信頼関係のさらなる構築につなげてまいります。

次に、国の栄典関係についてであります。本年度の春の叙勲では、4月29日付の発令による危険業務従事者叙勲において、防衛功労として2名の方が瑞宝双光章を、3名の方が瑞宝単光章を受賞されました。改めて受賞されました皆様のこれまでの功績に心から敬意を表するものであります。

次に、予約型乗合タクシー運行事業についてであります。昨年度、市街地区及び島津、富原、東中地区を対象に試行運行を行ったところであります。本年4月からは、運行区域を全町に拡大し、試行実施したところであります。

5月末現在の登録者数は、昨年度中の登録者から97名が新たに登録いただき、572名となっており、延べ利用者数1,024名、延べ運行回数は491回で全体の稼働率は74.8%となっているところです。

今後においては、円滑な事業実施とあわせて、利用者や運行事業者をはじめ、多くの方々からご意見を賜りながら、次年度からの本運行に向けた準備を進めてまいります。

（総務課行政報告【防災担当関係】）

次に、防災士取得講習費補助事業についてであります。自主防災組織の活性化など、地域の防災力向上を図るため、本年度より3ヵ年計画で事業を開始いたしました。

初年度である本年度は、各住民会より15名の講習受講について推薦をお受けしたところであり、6月2・3日に開催された防災士資格取得研修には、10名の方に受講いただきました。残りの5名については、11月開催予定の同研修を受講いただくことで、調整を図ってまいります。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。4月17日に北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会によります「北海道の自衛隊体制維持・拡充を求める要望」として北部方面総監部、防衛省及び関係国会議員への要望運動に参加いたしました。また、4月23日に自衛隊協力会上富良野支部総会に、4月27日に富良野地方自衛隊協力会定期総会と自衛隊退職者

雇用協議会総会に、さらに、5月10日には北海道駐屯地等連絡協議会総会に出席いたしました。

基地対策関係では、上富良野基地対策協議会による平成25年度防衛施設周辺整備事業要望として、6月6日の同協議会終了後に駐屯地、第2師団、北海道防衛局、北部方面総監部へ要望を行ってまいりました。また、5月31日には、北海道基地協議会総会に出席いたしました。

部隊記念行事関係では、5月26日に北部方面後方支援隊創隊12周年記念行事と第2師団音楽祭りに、6月10日には第2師団創立62周年記念行事に出席いたしました。

地元駐屯地においては、6月3日に上富良野駐屯地創立57周年記念行事が行われ、多くの町民の皆様とともにお祝いしたところであります。

（保健福祉課行政報告【高齢者支援班関係】）

次に、高齢者福祉対策についてであります。まず、第5期介護保険事業計画・高齢者福祉計画については、3月27日の介護保険事業運営協議会において決定をし、本年度から3カ年を計画期間とする同計画がスタートしました。

また、同計画策定の際にも多くの方々から、デイサービスの拡充を望む声をいただいていたことから、昨年未より関係事業者へ働きかけを行ってきたところ、「デイかみん」において、毎週土曜日に生きがい活動支援デイサービスを実施できる運びとなりましたことから、今定例町議会に関係する補正予算を上程させていただいております。

今後とも、高齢者福祉推進のため、計画に基づき諸施策を講じてまいりたいと考えております。

（保健福祉課行政報告【子育て支援班関係】）

次に、子育て支援紙おむつ用ごみ袋交付事業についてであります。本年度の新規事業として4月より事業を開始し、5月末時点で交付対象乳幼児174名の養育世帯へ、6,705枚を交付したところであります。

また、7月からは1歳の誕生月を迎える世帯には、この交付にあわせて誕生会を開催し、お子さんの健やかな成長をお祝いするとともに、様々な相談や支援のほか、情報発信の機会としてまいりたいと考えております。

（町民生活課行政報告【税務班関係】）

次に、町税等の徴収状況についてであります。例年どおり、管理職全員による滞納プロジェクトの臨戸訪問徴収や夜間納税相談窓口の開設などに加え、滞納者に対する差押えを執行し、徴収の強化を図ってまいりました。

さらに今年度からは、インターネット公売の手法を導入し、差押え物件の換価収納策を強化したところであります。

また、平成19年度から開始しているコンビニ収納も、納税者に定着してきており、同時に施行しました行政サービス制限条例により、納期内納税の意識も高まってきております。

これらによりまして、平成23年度の収納率は、滞納繰越分を含め町税で0.2%、国保税で1.9%向上したところであり、滞納繰越額は、前年対比で町税159万3千円、国保税386万8千円減少し、町税で2,255万6千円、国保税で3,140万1千円となっております。

（産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農作物の生育状況についてであります。近年、天候不順や異常とも思える集中豪雨被害によって、畑作を中心に非常に厳しい作柄となったことから、本年の出来秋に寄せる期待は大きなものがあります。

今春はなかなか融雪が進まず、昨年同様に耕起作業に遅れがでるのではないかと懸念をしていたところではありますが、4月下旬からの好天に恵まれ、耕起作業をはじめ、播種・移植作業もほぼ平年並みに推移いたしました。

秋まき小麦については、昨年秋の播種作業の遅れによる生育不良や、雪腐病による被害が例年に比べ多く、廃耕せざるを得ない状況が散見されますが、稲作をはじめ、他の畑作物、野菜については、ほぼ順調に推移している状況にあります。

今後の生育状況を注視しつつ、天候に恵まれることもさることながら、農業関係機関相互の連絡をより密にし、農業者のみなさんと共に豊穡の秋が迎えられるよう努めてまいります。

次に、東中地区における生産基盤整備事業であります。東中5地区のうち「東中央地区」「東中南地区」の2地区において、本年度より事業着手となり、本年度については調査設計が主な内容となっております。他の3地区についても、随時、基礎調査が進められることになっており、今後においても、円滑な事業着工と早期完了に向けて、受益地区の皆様とともに関係機関への働きかけを強めてまいりたいと考えております。

（産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に、12月策定予定の観光振興計画についてであります。8名の委員を委嘱させていただき、第1回観光開発審議会を5月24日に開催し、計画案の策定について諮問

したところであります。

また、同審議会における審議のために必要な様々な情報の提供や、最終的な成果報告作成業務を担っていただくため、公募型プロポーザル方式により4月27日に委託業者を決定したところであります。

既に町民の皆様へのアンケート調査を実施中であり、今後においては、来訪者に対するアンケートのほか、町民意見交換会等も開催される予定となっております。

多くの方々に様々なご意見をいただきながら、審議会での議論を重ね、計画策定に取り組んでまいります。

（建設水道課行政報告）

次に、建設産業安全大会についてであります。5月11日、建設工事の繁忙期を迎えるにあたって、建設業協会と商工会工業部会の共催により、従事者約170名が集い開催されました。

大会では、交通事故や労働災害防止の安全施業決意宣言を参加者全員で確認し、誓いました。

本年度も無事故、無災害の優良施工を願うところであります。

次に、町道維持管理業務の全面委託についてであります。4者により構成された特定共同企業体と契約を締結し、4月から順調に業務を開始したところであります。

今後とも、委託事業者と連携を密にし、住民サービスの向上に努めてまいります。

（教育振興課行政報告【学校教育班関係】）

次に、上富良野高校の状況についてであります。本年度は、地元中学校からの17名を含む30名の入学があり、前年より3名の増となりましたが、存続に向けては、引き続き大変厳しい状況にあるものと認識しているところであります。

今後も上富良野高校への入学者が増加し、地域に根ざした特色ある高校として存続できるよう、町民の理解と協力をいただきながら、引き続き関係機関とともに努力してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

次に、学校給食主食の米飯及びパンの提供不能に係る経過についてであります。これまで、主食の製造を担っていただいていた町内業者の全事業停止により、4月12日から延べ11日間未提供となったところであります。

その間、保護者の皆様に大変ご迷惑をおかけ致しましたが、北海道学校給食会等関係機関の協力によりまして、5月7日から主食の提供を再開したところであります。

なお、米飯は、株式会社西川食品から、パンは、社会福祉法人エクウエート富良野から提供を受けており、共に学校給食で実績のある富良野市内の事業者であります。

今後とも地元の学校給食につきましては、富良野広域連合を通じて、安全で安心な給食の提供につながるよう条件整備に最善を尽くしてまいります。

（教育振興課行政報告【社会教育班関係】）

次に、いしずえ大学開校40周年記念についてであります。記念誌を発行するとともに、議員各位をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、6月15日に記念式典を挙行し、あわせて祝賀会を開催いたしました。

式典においては、これまでの学習活動にご尽力を賜ったクラブ講師並びに指導員の先生方に感謝状を贈呈させていただき、また、祝賀会では、4つのクラブが学習活動

として、その成果を発表いたしました。

今後とも「若く老いよう」を合言葉に、大学の運営に努めてまいります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に、建設工事の発注状況についてですが、本年度、入札執行した建設工事は、6月15日現在、件数で15件、事業費総額で2億1千686万7千円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は38件で、その情報については4月1日付で公表したところであります。

なお、お手元に「平成24年度建設工事発注状況」について配付いたしましたので、後ほど御高覧いただきたく存じます。